

INFORMATION

No.2021.23
2021年11月

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。

謹白

記

■ 実施日 2021年12月1日(水) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
4648	Asp f 1 (アスペルギルス由来) 5A100-2523-023-023	血清 0.3	① 真空 採血管	冷蔵	3~5	110 ※6	FEIA	クラス0 0.35未満 (U _A /mL)	判定基準 裏面参照

※6：免疫学的検査判断料



一般社団法人

福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1丁目6番9号 TEL(092)852-1506 FAX(092)852-1511

● Asp f 1 (アスペルギルス由来)

アレルギー性気管支肺アスペルギルス症 (ABPA) の診断補助に有用な検査です。

アレルギー性気管支肺アスペルギルス症 (ABPA) は、重症喘息の中に潜在している例も多く、再発を繰り返すと線維化から呼吸不全に至ることもあり、早期の診断と治療が大切な疾患です。

成人気管支喘息患者のうち 10%前後にアスペルギルス感作があるとされており、アスペルギルス感作喘息の 10%~20% (成人気管支喘息の 1%~2%) が ABPA とされており、早期に疑い、積極的に ABPA スクリーニングのための CT 検査等を進めていく必要があります。

本項目は、アスペルギルスから抽出されるアレルゲンコンポーネントの 1 つの特異的 IgE 検査で、ABPA の発症原因となるアスペルギルス・フミガーツスの主要アレルゲンを検出するため、ABPA の診断補助に有用です。

▼疾患との関連

アレルギー性気管支肺アスペルギルス症 (ABPA)

▼関連する主な検査項目

特異的 IgE アスペルギルス

▼検査要項

検査項目名	Asp f 1 (アスペルギルス由来)		
項目コード	4648		
検体量	血清 0.3 mL		
容器	①真空採血管		
保存方法	冷蔵保存してください		
所要日数	3~5 日		
検査方法	FEIA		
結果項目コード 検査項目名 基準値 (単位)	4649 (f 1 ケッカ)	: 0.35 未満	(U _A /mL)
	4650 (f 1 スコア)	: クラス 0	
報告範囲 (単位)	(f 1 ケッカ) : 0.10 未満、0.10~99.9、100 以上 (U _A /mL) (f 1 スコア) : 0~6 (クラス)		
桁数	(f 1 ケッカ) : 有効 3 桁、整数 3 桁、小数 2 桁 (f 1 スコア) : 有効 1 桁、整数 1 桁、小数 0 桁		
検査実施料	1 アレルゲン 110 点 (「D015」血漿蛋白免疫学的検査「13」)		
判断料	144 点 (免疫学的検査判断料)		

● 特異的 IgE (シングルアレルゲン) FEIA 法 (判定基準)

クラス	特異的 IgE 抗体価 (U _A /mL)	判定
0	0.35 未満	陰性
1	0.35~0.70 未満	疑陽性
2	0.70~3.50 未満	陽性
3	3.50~17.5 未満	
4	17.5~50.0 未満	
5	50.0~100 未満	
6	100 以上	

●参考文献

奥田 勲, 他 : 医学検査 46 (10) : 1525~1530, 1997. (検査方法参考文献)

Yama Fukutomi, et al : Allergol int. 65 (1) : 30~36, 2016. (臨床的意義参考文献)